平成二年度国家予算要望

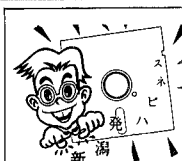
万代橋下流連絡路の整備促進など51項目を

市では、新潟海岸（金衛町浜）の浸食対策と環境整備など四項目の新規要望を含む平成二年度「国家予算に対する要望事項」をまとめ、七月二十四日、市長と市議会議長らが上京し、県選出国会議員、各省庁に陳情します。

今回、市が国に要望するのは次の五十一項目となっています。

①第十次道路整備五カ年計画の完全達成と主要地方道等の整備促進
②公共事業に係る譲渡所得に関する特別控除制度の拡充
③北陸自動車道（新潟西I・C～新潟亀田I・C）の早期整備
④北陸自動車道（新潟亀田I・C～仮称・新潟東I・C）の整備促進
⑤東北横断自動車道いわき新潟線の事業促進
⑥日本海沿岸東北自動車道の建設
⑦関越トンネル四車線化の早期完成
⑧万代橋下流連絡路（万代島ルート）の整備促進
⑨国道116号新潟西バイパス改良整備事業の促進
⑩国道116号学校町交差点改良事業の促進
⑪国道7号新バイパス改良事業の早期完成
⑫国道49号横雲バイパス改9－127号線（細山地内）、倡
濃川右岸線（仮称）（上所地内）
⑬道路整備事業費の配慮
⑭〈新規〉交通安全施設等整備事業費の配慮
⑮都市計画道路下山本所線の整備
⑯〈新規〉都市計画道路出来島上木戸線（馬越地内）道路改良事業の新規採択
⑰街路事業費の配慮
⑱住宅地関連公共施設整備促進事業の配慮
⑲鳥屋野潟の総合整備の配慮
⑳公園整備事業費の配慮
㉑下水道整備事業費の大幅確保
㉒特定環境保全公共下水道事業費の確保
㉓大学南土地区画整理事業費の配慮
㉔新潟駅南第二地区の市街地再開発事業の配慮
㉕新潟駅南口第四地区D₂街区の市街地再開発事業の配慮
㉖第七次五か年計画に基づく治水事業を強力に推進する中での信濃川下流改修事業の促進
㉗治水事業の促進
㉘新潟海岸（有明浜・五十嵐浜）の浸食対策と環境整備事業の促進
㉙〈新規〉新潟海岸（金衛町浜）の浸食対策と環境整備事業の促進
㉚農業集落排水事業西山地区の事業費の配慮
㉛新潟港の早期整備
㉜新潟港西港区入船臨港線（港口部ルート）の整備促進配慮
㉝新潟港海岸の保全施設の整備促進
㉞新潟空港拡張整備事業の早期完成
㉟新潟空港周辺の環境対策事業の促進
㊱上越新幹線の東京駅始発の早期実現等の配慮
㊲潟水防除事業亀田郷地区の事業費の配慮
㊳県営かんがい排水事業亀田郷地区の事業費の配慮
㊴水利施設総合監理システムモデル事業費の配慮
㊵農業集落排水事業西山地区の事業費の配慮
㊶第八次漁港整備長期計画に基づく新川漁港の修築事業の推進
㊷第四次海岸整備計画に基づく新川漁港海岸保全施設整備事業の配慮
㊸国の機関等の新潟市への移転
㊹長期科学研究センター（仮称）の設置
㊺地域ソフトウェア供給力開発事業の事業計画の承認
㊻国際総合流通センター（仮称）の設置
㊼勤労者総合福祉センター（B型）の建設
㊽新潟大学の整備拡充

万代橋下流連絡路（万代島ルート）＝イメージ



"新潟発ハビネス"
新潟パソコンソフトウェアコンテスト

"プログラム"、"アイデア"を募集

あなたにとって「ハビネス」とは何ですか。新潟から発信するいろんな"幸せ"への提案をプログラムソフトを通じて多くの人々へメッセージしてみたいと思いませんか。

㈱新潟テレトピア振興協会、新潟ソフトウェア産業協議会では、"新潟発ハビネス"をテーマに来年二月十八日にプラーカ1「遊とぴあホール」で開かれる新潟パソコンソフトウェアコンテストの参加者を募集しています。

コンテストは「プログラム部門」、「アイデア部門」に分かれており、「プログラム部門」は、毎日の生活の中に新鮮な好奇心を発見できるソフトや、若者に遊びからオリジナルな研究へ、社会人へのステップとなるソフトなどを募集。また「アイデア部門」はビジネスや生活、さまざまな場面でこんなことがコンピュータ（ソフト）でできると楽しい、便利だ……というアイデアを募集しています。

応募対象　市内、新潟市周辺市町村に在住する人（会社、団体、プログラマーなど制限なし）

応募提出書類　応募用紙、プログラムフロッピーなど。※応募用紙は、市本・分庁舎案内、地区事務所、連絡所にあり。

賞　最優秀賞十万円など総額五十万円

応募申し込み　ピット・ユニオン（〒951東堀通七一一〇七NTTプラザ三階、☎222－1151）へ

小学生からお年寄りの方まで、今までコンピューターとは縁のなかった人たちのアイデアも大歓迎です。

応募方法は次のとおりです。

応募締め切り　十月二十日

※ただし「プログラム部門」の作品は来年一月十五日までに提出

東洋一の大ミニ四駆サーキットコース……

新潟市異業種交流研究会

「遊びと科学」へ

異なる業種で技術交流、共同開発、経営問題の協議などを行い成果をあげている、市異業種交流研究会が、会の存在や活動ぶりを市民のみなさんから知ってもらうため、初めてのイベント「遊びと科学」を開催します。

日時　七月三十日午前十一時～午後六時

会場　古町五アーケード

内容　東洋一の大ミニ四駆サーキットコース。不思議シーソ、昔の遊びを手作りで、省エネカー・ホバークラフト、暮らしと科学、ほか

※ミニ四駆への参加は整理券が必要。先着三百人。日野屋玩具店各店へ。

問い合わせ　工業振興課へ

360度の大パノラマ 回転展望台
日本海夕ワー

22日から時間延長
夜7時30分まで営業

日本海に沈む夕日、シルエットのように浮かぶ佐渡、暮れなずむ新潟市街…、360度の大パノラマをゆったりとした気分でどうぞ。

時間延長の期間　7月22日(土)～8月27日(日)
営業時間　午前9時～午後7時30分（8月9日は平常通り午後5時まで）
入場料　中学生以上 300円／小学生 100円
日没の時間　7月22日…午後7時2分、8月27日…午後6時21分　※この間、日没時間は1日に約1分ずつ早まります。

全視協東日本
青年学生交流平和キャンプ

日時　8月18日～20日
会場　胎内キャンプ場（北蒲黒川村）
対象　視覚障害者、ボランティア200人
参加費　2泊3日10000円・学生 8000円　1泊2日6000円・学生5000円
問い合わせ　井上（☎260－1278）へ

銃砲刀剣類登録審査会

受付　8月4日午前10時～午後2時半
会場　県庁1702会議室（新光町）
持参品　登録を受ける銃砲刀剣（持参するときは包装に注意）、銃砲刀剣類発見届出受理証（警察署発行）　登録手数料1件4,500円（県収入証紙で）、印鑑
問い合わせ　県文化行政課（☎285－5511）へ

くらしの行政と人権相談

行政機関や人権についてご相談下さい。
日時　7月21日、8月4日・18日午前10時～午後3時（毎月第1・3金曜）
会場　大和新潟店6階
相談員　行政監察事務所行政相談委員

住まいの相談

日時　7月18日午前10時～午後3時
会場　東北電力グリーンプラザ
相談内容　住宅の新・増改築、工事全般
問い合わせ　新潟地域住宅相談協議会（☎266－6650）へ

高齢化社会シンポジウム

日時　7月26日午後1時～4時15分
会場　県民会館大ホール
内容　講演「今日がいちばん若い」（俵萠子さん）、パネルディスカッションほか
問い合わせ　県高齢福祉課（☎285－5511）へ

セミナー「ターミナルケアの場面」

日時　7月30日午前10時～午後4時半
会場　ニュー越路（明石1）
内容「患者の理解」「心の援助」、事例検討
講師　吉田哲（中央カウンセリング研究所所長）　**参加費**　6000円　**定員**　50人
問い合わせ　岡村（新大歯学部附属病院223－6161）へ

婦人文化のつどい講演会

日時　7月26日午後1時半～3時半
会場　ホテル新潟
内容「私の生き方」（中村メイ子さん）
定員　1500人　**参加費**　800円
問い合わせ　㊙鈴木（☎245－7796）へ

「問題行動の背景と子供の心を考える」

日時　7月19日午後1時半～3時
会場　両川連絡所　**講師**　茂野武博さん
問い合わせ　曽野木地区公民館（☎280－6810）へ

歯科相談

日時　8月1日午後1時半～3時
会場　西保建所
内容　歯に関する相談と歯科検診
定員　10人（予約制）
持参品　成人健康手帳・母子健康手帳（おもちの方）
申し込み　電話で会場へ

貧血予防講習会

日時　7月26日午後1時受付、3時半終了
会場　中地区保健センター
内容　日常生活と食事について、試食
対象　東保健所管内在住の婦人（予約制）
持参品　貧血検査結果通知書
申し込み　電話で東保健所へ

献血車「ゆうあい号」

※正午から午後1時まで受付休みます。

月日	会場	時間
7・16	食と緑の博覧会場（緑水）	午前10時～午後4時半
7・19	市役所本庁舎（西堀通6）	午前10時～午後4時
7・22	JR新潟駅前（花園1）	午前9時半～午後3時
全週日を除く毎日	古町献血ルーム（古町7、アーケード内）	午前10時～午後1時 午後2時～5時半

育児相談

持参品　母子健康手帳
申し込み　当日会場へ

地区	月日	会場	時間
西	7・19	西地区保健センター	午後1時～3時
坂井輪	7・20	坂井輪地区保健センター	午後1時～2時半

離乳食講習会

対象　生後4ヵ月に達した赤ちゃん（西地区と鳥屋野地区は第1子）をお持ちのお母さん、または保育している人
内容　離乳食の作り方、試食と話し合い　離乳の上手なすすめ方、ほか
持参品　母子健康手帳
申し込み　当日会場へ

月日	会場	時間
7・21	坂井輪地区公民館	午後1時半～3時半
7・27	北地区保健センター	
7・28	鳥屋野地区保健センター	

山の下地区育児講習会

日時　7月18日午後1時半～3時
会場　中地区保健センター
対象　山の下地区在住で平成元年2月生まれの乳児
内容　保健婦による相談と助言
持参品　母子健康手帳